



# 学校だより

令和4年1月7日  
横浜市立東戸塚小学校

〈学校教育目標〉 自ら学び 人とかかわり 創り出す子

## 未知の状況、変化に臨む子どもの学びを創る

校長 南部 礼子

清々しい空気と陽射しに包まれて新年を迎えました。子どものよりよい学びのために、学校教育目標「自ら学び 人とかかわり 創り出す子」のもと、教育活動を始動します。

新型コロナウイルス感染症の感染状況の変化を幾度となく体験して、子どもの日々の学習を大切にしたいという思いを一層強くしています。10月下旬から3年の1学級の算数科の授業に関わりました。この間、子どもとともに学ぶことの楽しさと深さを味わいました。

「かけ算のひっ算(1)」の学習では、2位数×1位数、3位数×1位数の計算の仕組みを考えていきました。かけ算九九を2回または3回使い、たし算をすると計算できると考え、学級の多くの子もたちが納得した時のことです。一人の子が発言しました。「今は、かけ算が3回までだけれど、かけられる数が大きくなったら、かけ算九九の回数が増える。それに、かけられる数が1桁だけれど、2桁になったら、変わると思う。」と。今はこの方法で計算できるけれど、使い続けられるかどうかはまだ分からないという考えに、子どもたちは大きく頷きました。問いを共有し学習を続けることへの意欲を生み出した瞬間でした。

「1個75円のお菓子が1箱に5個ずつ入って売られています。2箱買います。」という場面を提示した時のことです。子どもたちは、この続きとして2つの問題、「①お菓子は全部で何個になるのか。」と「②代金はいくらになるのか。」を作りました。①を「 $5 \times 2$ で10個」と出した後、②の代金を求めました。そこでは、AとBの2つの式に表しました。Aは $75 \times 5 \times 2$ で、1箱分の値段を出してから2箱分の代金をと順番に求める式です。Bは $75 \times (5 \times 2)$ で、先に $5 \times 2$ と個数を求めてから2箱分の代金を求める式です。式が表す意味が異なることが分かった後に、「AとB、どちらの式がよいと考えますか。」と投げかけると、反応は3つに分かれました。「A」、「B」、「どちらでもよい」と。Bは、かけ算九九を行う回数が少ない点がよいと分かりました。「どちらでもよい」という子は次のように理由を話しました。「この場合は、Bがよいと思う。でも、数が変わったら、Bとは限らない。」と。

このように発展的に考えたり、今の解決方法が使い続けられるかどうかと問うたり、場面に応じて柔軟に考え表現する必要性を認め合ったりする子どもたちの深い学びに感動しました。

未知の状況に出会い、変化の激しい時代を生きていく子どもたちには、粘り強く学ぶこと、一つの問題解決方法に固執しないしなやかさが求められます。日々の学習の中で、子どもたちは複数の解決方法を考え出します。皆が分かるのか、正しいのか、いつでも使えるのかと最適な方法を求めていきます。その過程で、一つ一つの解決方法の価値を明らかにすることを取り入れることに努めています。目的に応じて方法を選択したり、さらに事象を発展させて新たな方法を考え出したりする力を身に付ける学びを大切にしたいと考えます。

ある朝、正門で空を見上げていると、「向こう側の空にピンクが見える。」と声をかけてきた子がいました。子どもの示す方に視線を移すと、真上の空の色とは異なっていました。ぐるっと一回りして見てみると、濃い水色、薄い水色、灰色、そしてオレンジ、ピンクなどいくつもの色を見付けました。一人一人の子どもの見方や考え方、成長過程の姿は多様です。子どものよりよい成長のために多様な視点が必要です。教職員、保護者の皆様、地域の皆様との連携を大切にして臨みたいと考えます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

## 【 主体的な学びの実現に向けた授業づくり V 】

1 2月号に続き、本校の算数科重点研究での子どもの学習の様子を紹介します。

### 2年生 かけ算

2つの単元で構成されている「かけ算」では、単元をつなげる学習を大切にして学びを深めていきます。

最初の単元「新しい計算を考えよう」から次の単元「九九をつくろう」につなげる学習として、 $5 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4$ の段と順に九九をつくった後に、初めの5の段を見直す時間を設けました。 $5 \times 4$ の答えを求める場合を取り上げると、かけられる数とかける数を交換して $4 \times 5$ として求める方法、かける数の4を2と2に分ける方法、かけられる数の5を3と2に分ける方法など複数の方法が考えられました。これまでに九九をつくったときの方法を5の段の九九に活用できることに気付きました。

続く「九九をつくろう」の学習では、これまでに見いだしたかけ算のきまりを使って、6の段から9の段まで九九をつくっていきます。この時間は単元の最初の時間でした。まず、一人一人が $6 \times 6$ の答えを、きまりを使って求めました。かける数の分だけ6をたしていく方法、前の九九の答えにかけられる数の6をたして次の九九の答えを求める方法、 $6 \times 6$ を $2 \times 6$ と $4 \times 6$ のように、2つの段に分けて計算する方法など、複数の方法が出されました。そこで、それぞれの方法のよさや大変さについて、皆で考えて共有した後に、 $7 \times 4$ の答えを求める場合、どの方法を使うとよいか考えました。場面に応じて、方法を使い分けることのよさに気付いて、「算数が楽しい。」という声が上がりました。



### 4年生 面積のはかり方と表し方

身近な部屋の広さの話題を提示して、どちらが広いかを考えることから面積は周りの長さとは関係がないことを学習しました。

「周りの長さは等しいのに面積が違うように見えるのはなぜか」という問いをもって、ノートには実際の長さでは作図できないことから1mを1cmに縮小してかきました。周りの長さが16cmになる長方形や正方形を次々に作図して、それぞれの広さについて考えました。その結果、面積はマス目がいくつ分かで比較できることが分かり、周りの長さが変わらなくても面積や縦と横の長さは変わることへの理解につながっていきました。どちらが広いかを自分の言葉で説明しようとしたり、友達の考えを聞きながら熱心に考えたりしていて、子どもたちの意欲が高まりました。「どちらの長方形が広いのか」、「変わるものと変わらないものがあるのか」など、子どもたちから問いやつぶやきがたくさん出た学習になりました。

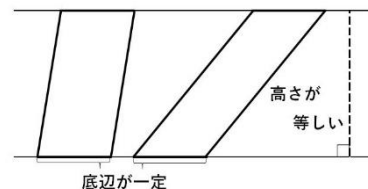


## 5年生 四角形や三角形の面積

平行な2本の直線のきまりや長方形と正方形の面積の求め方など4年生までに学習してきたことを活用して、平行四辺形や三角形、台形やひし形などの面積を求めるための、最初の場面です。

平行な2本の直線を基に、底辺4cmの平行四辺形を子どもたち一人一人が思い思いに作図しました。作図した平行四辺形を見比べると、太い平行四辺形や細長い平行四辺形がありました。見た目では、面積が異なるととらえる子どもや、面積が等しくなるのではと考える子どもがいて、この単元の学習のはじめの問いが生まれました。そこで平行四辺形の面積を求める活動に入りました。1cm<sup>2</sup>のます目を数えたり、図形を分割して組み合わせて平行四辺形から長方形に変形して面積を求めたりすることで、見た目が違うように見えても面積が等しくなることが分かりました。次に、なぜ同じ面積になったのかを考えると、平行四辺形の一つの辺「底辺」と、その辺に対する垂直な直線「高さ」が等しいことに気付きました。このような過程を経て平行四辺形の面積を求める要素として、底辺と高さが分かれば計算して面積を求めることができることを理解することができました。

この学習の後、三角形や台形などの面積を求める時に、図形から垂直な2本の長さを見いだそうとしている姿、これまでの学習を活用しながら面積を求めようとしている姿が見られました。単元の最初の場面での問いが単元全体を通してつながった学習になりました。



## ☆ 11, 12月の学校生活の様子 ☆

### 【 7組 スペシャル遠足 こどもの国 11月19日(金) 】

真っ青な秋空の下、7組はスペシャル遠足に出かけました。バスで出かけることが初めての友達もいましたが、「バスレク、はっじまるよ〜!」と、6年生の声で始まったバスレクで盛り上がれば、あっという間にこどもの国に到着です。

入場してからのグループ行動では、落書き広場で、それぞれ地面にチョークで描いて楽しんだり、ターザンロープやアスレチックの遊具、迷路などで遊んだり、みんなで「だるまさんがころんだ」をしたり…。小春日和の中、笑顔があふれていました。



週明けの月曜日、テレビで遠足の写真を見ながら、グループでサイコロトークをして、楽しかった活動などを振り返りました。最後は、みんなでどんな準備をしてきたかを確認し、リーダーの5・6年生たちの頑張りを拍手で称えました。そのまぶしい姿が下学年の印象に残ったことと思います。

自分たちの力を合わせて活動を創り出していく経験が、学年や年度を越え、また一つ積み重なった、7組のスペシャル遠足となりました。

## 【 6年生 鎌倉・新江の島水族館 校外学習 12月10日(金) 】

6年生になってから初めての校外学習に向けた前日の学年集会では、「狭い道もあるだろうから、そういう場所は静かに一列で行動したい。」「自分が楽しむだけでなく、みんなで楽しみたい。」とそれぞれが自分のめあてを考えていました。



鎌倉大仏殿高德院では、実際に大仏を目の当たりにし、「すごい。思っていたよりも大きい。」と感嘆の声が上がりました。昼食場所やバスの駐車場に向かうため、起伏の激しい鎌倉の地形を実際に歩きました。子どもたちの中には息を切らしている子も多くいました。「確かにこの道を、馬を連れて攻め入るのは難しい。」と、源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由を、実感を伴って理解することができました。



新江ノ島水族館では、グループに分かれて見学をしました。それぞれの見学したい場所を尊重し合い、時間を意識しながらマナーを守って行動することができました。

一日を通して6年生らしく協力し合って過ごす姿が多く見られました。「一人一人が自分の役割を自覚し、声をかけ合うことができて良かった。」「日光でも今回の経験を生かして頑張りたい。」と振り返り、思い出に残る一日にすることができました。

## 【 6年生 日立ソフトボール選手4名によるデモンストレーション 12月17日(金) 】

女子ソフトボールチーム「日立サンディーバ」の4名の選手をお招きして、投手の投球や打者の打撃の様子を見せていただきました。間近で感じる時速100kmの球速や体育館に響き渡る捕球音、巧みなバットコントロール、豪快なスイング、打球の行方に、何度も感嘆の声が上がりました。



## 【 6年生 東京オリンピック女子ソフトボール日本代表「清原奈侑選手」による講演会 12月17日(金) 】

東京オリンピックに出場された清原奈侑選手の講演会では、目を輝かせて興味津々に話を聴く子どもたちの様子が印象的でした。講演の後半では、オリンピックで使用されたユニホームやグローブ、獲得された金メダルを一人一人手にとって見せていただきました。とても貴重な機会となり、子どもたちは大満足でした。「夢は叶えるものではなく、掴むもの」「他人がしていないことをする」「支えてくれた人の喜ぶ顔を思い浮かべることで努力し続けられる」など、清原選手の言葉一つ一つが子どもたちの心に響いていました。講演会終了後、自分のこれからに生かそうと、決意を新たにする姿が見られました。



<子どもたちの振り返り>

- ・金メダルが重くて、努力の重みを感じました。
- ・「負けたくない」という気持ちで、みんなの见えないところでも努力を重ねた所がすごいと思いました。私も負けず嫌いだから、真似してみようと思います。

## 【 3年生 八景島シーパラダイス 遠足 12月17日(金) 】

「色とりどり シーパラダイスキ！ レッツゴー!!」というスローガンのもと、遠足に出かけました。入学以来、バスに乗っての遠足は、子どもたちにとって初めての経験でした。車内では、バスレクを楽しむ元気な3年生の姿が見られました。



水族館見学では、シロクマやセイウチなどの普段見ることができない動物を間近で見て、「わあ、大きい。」「シロクマも犬かきをするんだね。」など、動物の様子に大興奮でした。



海獣たちのショーでは、「イルカのジャンプ力がすごいね。」「飼育員さんとイルカの息が合っているね。」という声も聞かれ、楽しみながら海の生物について知ることができました。また、班の友達と声をかけ合い、まとまって行動することができました。

実行委員が中心となり、スローガンをつくったり、出発の会や到着の会を運営したりするなど、当日に向けてしっかり準備をし、一つの行事を創りました。この経験を今後の学習にも生かせるよう支援していきます。

## 【 子どもたちの歌声が響いています♪ 音楽朝会・学年発表 】

10月からマスク着用で声を出して歌ったり、音を出してリコーダーを演奏したりする活動を再開しました。朝の会では、子どもたちの元気な歌声が校舎中に響くようになりました。5月からスタートした音楽朝会（校内TV放送）に加え、11月から音楽の学年発表も始まりました。11月・12月は4つの学年の発表が校内TV放送で行いました。

### ＜2年生 「ほかほかパン屋さん」「世界が一つになるまで」 11月16日＞

4つのパート（あんパン、メロンパン、ぶどうパン、カレーパン）に分かれて、声と手拍子を重ね合わせました。合唱では、曲に合ったきれいな声を出すことを目標に練習しました。友達の歌声を聴きながら、声の出し方を工夫する姿はととても意欲的で、学年目標通りのスーパー2年生でした。



### ＜3年生 「ちょうちょう」「音楽のおくいもの」 12月20日＞

音を出してリコーダーを演奏できる期間は短かったですが、きれいな音を重ねて演奏しました。二部合唱では、互いの歌声を響き合わせることができ、達成感を味わいました。戸塚区音楽会（今年度は戸塚小とビデオ交流）の取組でもありました。



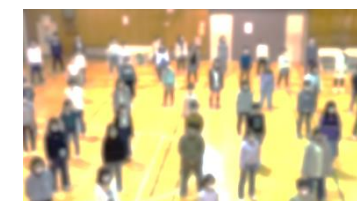
### ＜5年生 合奏「君をのせて」 11月9日＞

難しい曲でしたが、新しい楽器の演奏にチャレンジし、休み時間も練習する姿が見られました。クラスで合奏することを心から楽しみ、素敵な「君をのせて」になりました。



### ＜6年生 合唱「宝島」 12月14日＞

部分三部合唱に挑戦しました。久々の広い体育館での学年合唱に最初は戸惑っていた様子もありましたが、6年生らしい合唱にしようと声と心を合わせて熱心に歌っていました。



## 【 人権教育の取組 】

「横浜こども会議」のテーマ「だれにとっても居心地の良い学校づくり」を受けて、4月から本校でもテーマに沿って活動してきました。

「横浜こども会議」は子どもが主体のいじめ未然防止の取組として、全市立小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の児童生徒が中心に、年間を通じて行う活動です。7月8日（木）に行われた中学校ブロック「横浜こども会議」では、各学校の取組を紹介し合い、「だれにとっても居心地の良い学校」をつくるためにはどうしたらよいか、たくさんの意見を交流しました。代表の子どもからの発信を紹介します。

舞岡中学校・舞岡小学校・柏尾小学校の人たちと話し合い、標語を考えました。

どの学校でも、あいさつ運動に力を入れていたので、あいさつに関する標語を覚えやすいリズムで作ろうということになりました。決まった標語は「あいさつを 身近な人から地域まで」です。あいさつが苦手な人でも、身近な人から始めて、地域の人にも勇気を出して、していこうという思いが込められています。わたしたちの学校でも、「だれにとっても居心地の良い学校」をつくるために、この標語を頭に入れて、あいさつを広げていきましょう。

また、11月22日（月）～26日（金）の人権週間では、人権朝会で校長の講話を聞いたり、「横浜プログラム」や道徳教材を活用し、いじめについて意見を出し合い、考えを深めたりしました。多くの子どもが「いじめは許されない。」と考えていました。

子どもたちの感想の一部を紹介します。

1年生	勇気をもって友達に正しいことを言うのは、難しいこともあった。正しいことを伝えたいので、廊下を走っている友達にだめだよと伝えたい。
2年生	悪いことをした人には注意をして、自分はやらないようにしたい。正直に言うようにしたい。勇気をもって、「だめだよ。」と言ったり、助けたりしたい。
3年生	相手がどのように思うか考えてから言葉を言おうと思った。遊ぶ時も、自分は楽しくても相手はそう思っていないことがあるので気を付けたい。
4年生	悪口や相手が嫌がることをするのはやめようと思う。誰かが嫌な思いをしていたら、見ているだけでなく声をかけて助けたい。
5年生	周囲に流されてしまうことはよくない。大多数の直接的にいじめにかかわっていない人が、「だめなものだめ」と言える雰囲気を作っていくことが大切だ。
6年生	直接攻撃をしていない人もいじめている人と同じなので、傍観者になってはいけない。見ているだけでは救うことができないので、勇気をもって自分にできることをする。自分が加害者になる事もあるので、相手の気持ちを考えたい。
7組	自分が言われて嫌な言葉を、自分が友達に言ってしまうことがある。友達からもらった「ふわふわことば」のおかげで、うれしくなったり元気になったりしたことがある。

## 【 交通安全について 11月30日（火） 】

この日の安全朝会は、交通安全について話を聞いたり、ビデオを見て考えたりする時間でした。

『交通ルールを守って、安全に登下校しよう！！』をテーマに、

- ①交通ルールや下校の約束を守ろう。
- ②広がらないで歩こう。
- ③前を見て歩こう。

を3つの柱とした話を聞きました。信号を守る、横断歩道で渡る、飛び出しは絶対にしない、寄り道をしない、歩道は車道から遠い方を2列か1列で片側を空けて歩く、などです。たくさんの方が気持ちよく安全に歩道を行き来できるよう、想像力を働かせ、安全に登下校することを確認しました。また、子どもたちの登校を支えてくださっている東戸塚小学校応援団やオヤジの会の方々とのかかわりを撮影した動画を再度視聴して、自分たちの歩き方や、見守り支えてくれている人がいることを振り返りました。

児童指導面からも、子どもたちに投げかけをしました。仕事に急ぐ人や疲れて帰る人、小さい子を連れた人等、地域には様々な人がいて、一緒に暮らしていること。自分たちが広がって歩いたり、走ったりすることで、地域の人々の迷惑になったり、心配をかけたりにしていることに気付けるようになってほしいこと。自分の安全はもちろん、地域の人々の安全や安心も大切にしてほしいと伝えました。

### 専任だより

年末年始に子どもがもらったお金や物についてのトラブルが2月・3月頃に表面化することが多くあります。金銭や物の管理は、子どもたちにとって難しいことが多く、丁寧な指導・確認の段階を踏んでいく必要があります。お金や物の授受は、非行やいじめに発展する可能性が高い行為です。子どもを「信じる」と「任せきりにする」とは違います。お金の管理は、レシートと現物、残金を確認することが必要です。お金や物の管理は、将来に渡り必要になる力です。トラブルを避けることはもちろんですが、着実に家庭で育てていかななくてはならない力でもあると思います。

一年の節目に、振り返りや目標を立てることをしたいと思います。お金や物の管理についても、お子さんの発達に応じて考え、話し合う機会をもっていただけたらと考えています。よろしくお願いします。

**不審者情報は、すぐ110番！**

児童支援専任

☆☆☆☆☆☆ 1月の予定 ☆☆☆☆☆☆

☆ お知らせ ☆

日	曜日	行事予定	下校予定 (学年別丸数字)					
			1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	土	元日 冬季休業						
2	日	冬季休業						
3	月	冬季休業						
4	火	学校閉庁日 冬季休業						
5	水	冬季休業						
6	木	短縮時程 朝会 (TV) 午前授業 <u>12:15頃下校</u> 16:00~16:30 6年日光修学旅行保護者説明会 (体育館)	④	④	④	④	④	④
7	金	短縮時程 午前授業 <u>12:15頃下校</u>	④	④	④	④	④	④
8	土							
9	日							
10	月	成人の日						
11	火	音楽朝会 (TV・4年発表) 6年発育測定 給食開始	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
12	水	カウンセラー来校 5年発育測定	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
13	木	保健集会 (TV) 4年、7組発育測定 新・交流ロング昼休み (延期分)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
14	金	4年学習発表会 3年発育測定	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
15	土	9:15~17:00 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル 戸塚区役所3階区民広間、アートコリドーにて展示						
16	日	9:15~16:00 戸塚っ子いきいきアートフェスティバル 戸塚区役所3階区民広間、アートコリドーにて展示						
17	月	2年発育測定 クラブ (3年クラブ見学)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
18	火	給食週間 (24日まで) 安全朝会 (TV) 1年発育測定	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
19	水	短縮時程 カウンセラー来校 区一斉授業研究会のため <u>13:00頃下校</u>	④	④	④	④	④	④
20	木	避難訓練 (浸水)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
21	金	集会 (TV) 避難訓練予備日 (浸水) 代表委員会 (3年参加、6年不参加)	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
22	土							
23	日							
24	月	委員会	⑤	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥
25	火	給食週間の取組実施 (31日まで) 新1年入学説明会	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥
26	水	カウンセラー来校 3年学習発表会	④	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
27	木	4年清掃工場見学	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
28	金	5年学習発表会	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥	⑥
29	土							
30	日							
31	月	クラブ	⑤	⑤	⑤	⑥	⑥	⑥

【新・交流ロング昼休み】

企画委員会が中心となり、新しい交流活動を創り出しました。友達の輪をさらに広げるために、これまであまり交流できていない学年とも交流したいという子どもたちの思いを受けて生まれた活動です。1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生が交流します。それぞれのクラスのよさについて、クイズなどで紹介し合います。互いのクラスのよさを自分のクラスに生かし、よりよいクラスにしていけるよう支援していきます。

【クラブ見学】

各クラブがどんな活動をしているのかを3年生が見学して回ります。その中で、クラブ活動は、自分たちで計画して他学年と交流しながら活動していることに気付いたり、次年度の自分の所属クラブを決める参考にしたりします。

【給食週間】

1月18日(火)から24日(月)までの期間を給食週間とし、給食委員会が作成したビデオを視聴します。紙芝居やクイズを通して栄養バランスの大切さについて知り、好き嫌いをなく給食を食べる気持ちを高めることがねらいです。また、各クラスで給食や栄養バランスにちなんだ目標を設定し、1月25日(火)から31日(月)まで、意識的に取り組みます。

【今後の転出】

年度末までに転出の予定がある方や今後急に転出することになった方は、分かり次第担任までお知らせください。